

製品名: フィラミン 1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10987**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	280kDa

抗原情報

遺伝子名	FLNA
別名	FLNA; FLN; FLN1; Filamin-A; FLN-A; Actin-binding protein 280; ABP-280; Alpha-filamin; Endothelial actin-binding protein; Filamin-1; Non-muscle filamin
遺伝子 ID	2316.0
SwissProt ID	P21333
免疫原	抗血清はヒトフィラミン A 由来の合成ペプチドに対して産生された。アミノ酸範囲: 2121-2170

背景

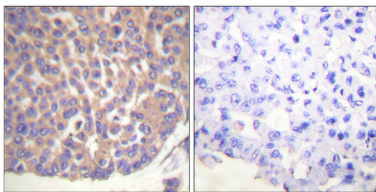
アクチンフィラメントの直交分岐を促進し、アクチンフィラメントを膜糖タンパク質に連結する。様々な膜貫通タンパク質をアクチ

ン細胞骨格に固定し、幅広い細胞質シグナル伝達タンパク質の足場として機能する。FLNA との相互作用により、神経芽細胞は脳室帯から皮質板へ遊走する可能性がある。

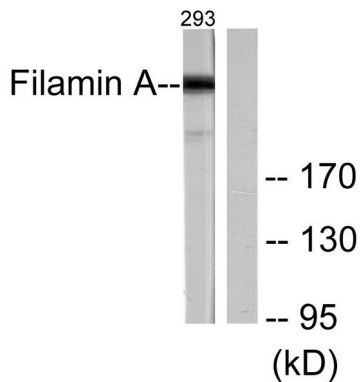
研究分野

MAPK_ERK_Growth;MAPK_G_Protein;焦点接着;

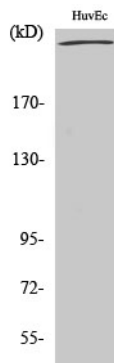
画像データ



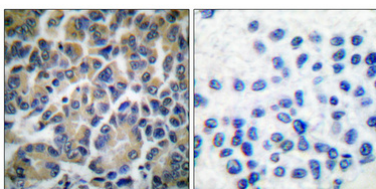
フィラミン A 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



EGF 200 ng/ml 5'で処理した 293 細胞ライセートのフィラミン A 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



フィラミン 1 ポリクローナル抗体を 1:2000 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。



パラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。